

# 地域安全学会

## 2015年度第3回理事会 議事録(案)

日 時：2015年9月19日(土) 15:00～17:00

場 所：同志社大学 東京オフィス 東京都中央区京橋2丁目7番19号 京橋イーストビル3階

出席者：立木茂雄、糸井川栄一、稲垣 景子、梅本 通孝、大西 一嘉、柄谷 友香、越村 俊一、指田 朝久、西川 智、秦 康範、牧 紀男、松岡 昌志、宮野 道雄、村尾修、森 伸一郎、八木 宏晃、山崎文雄

委任状：市古 太郎、岡田 成幸、鋏田 泰子、村上 ひとみ、庄司学、清野純史、矢代晴実  
能島暢呂、加藤孝明

欠 席：目黒 公郎、大原 美保、藤本 一雄、池田浩敬、重川希志依

事務局：竹本 加良子、上木 美貴恵

配布資料：27-3-1 2015年度第3回理事会議事次第(立木)  
27-3-2 2015年度第2回理事会議事録案(立木)  
27-3-3 会員数 会費納入状況等  
27-3-4 2015年度収支計算書(8月31日時点+予測)  
27-3-5 20150919 ISSS 研究運営委：第3回理事会資料  
27-3-6 150919 地域安全学会理事会学協会連絡会  
27-3-7 防災学術連携体  
27-3-8 ISSS 理事会 150919-選挙管理委員会  
27-3-9 NL93号(2015年10月)「内容と担当者」案  
27-3-10 一般社団法人地域安全学会細則(案)

議題：

### 1. 前回議事録の確認(立木)

資料27-3-2の第2回理事会議事録(案)について、下記2点の修正点以外は、原案通り承認された。

- ・1 ページ目 出席者欄の宮野理事のお名前を委任状欄に移動
- ・2 ページ目 2015年度地域安全学会役員の稲垣理事の役員担当名について 表彰委員会(正)→表彰委員会に修正

## 2. 会勢・会員管理関係（上木・竹本）

### （1）会員数、未納者数の報告

2015/9/14(月)時点での2015年度の会員数・会費納入状況は以下の通りである。

会員種別	2015年 会員数	(内、新規 会員数)	2015年会費			2014年会費	
			納入者数	未納者数	未納率	未納者数	未納率
賛助会員	1	(0)	1	0	0.0%	0	0.0%
正会員	545	(33)	434	111	20.4%	50	11.5%
学生会員	82	(23)	45	37	45.1%	13	28.9%
総数	628	(56)	480	148	23.6%	63	13.1%

※2015年度会員数に、過去2年分の会費滞納者（正会員：65名、学生会員：24名）は含まない

※8/20に賛助会員の株式会社パスコ様から、2015年度年会費（10万円）の入金がありました。

### （2）2015年度会費の未納者について

未納者に対し、7/25に年会費の督促をメールまたは郵送でご連絡した。結果、正会員59名、学生会員：6名から納入があったが、全会員の約2割である148名が未納である。

年会費の納入者数がこれ以上増えない場合、約14万円の赤字となることが予想されるため、下記の対策をとることとなった。

- ・10/3～4の東日本WS、及び、11/13～14の秋季大会受付で年会費の受付を行う。
- ・次回の11/13の理事会にて、未納者リストを事務局より提出し、理事が個別に納入を依頼する。

### （3）賛助会員について

地域安全学会の収入を増やす方法の一つとして、賛助会員を増やすことが提案され、賛助会員の特典を見直すこととなった。指田理事に賛助会員の特典をまとめた資料を次回理事会時にご提示いただき、審議することとなった。

## 3. 学術委員会関係（牧）

### （1）研究発表会論文 No. 27

投稿論文の53編を審査した結果、発表論文は33編、移行論文は4編、不採用は9編となった。残り6編は取り下げの連絡があり、1編は投稿システムの不具合のため現在進行中である。

### （2）電子ジャーナル No. 28

16編の投稿論文について査読者が決定したため、これから査読期間に入る。

## 4. 東日本大震災連続ワークショップ 2015 in 気仙沼（村尾）

投稿論文は19編となった。

東日本大震災連続ワークショップは、地域安全学会主催、気仙沼市及び東北大学災害科学国際研究所との共催で開催することとなった。

## 5. 2015年度秋季研究発表会（代理：立木）

11/13（金）、11/14（土）の秋季研究発表会に引き続き、11/15（日）に静岡県地震防災センターにて若手研究者による企画イベントが開催されることが決定した。

## 6. 研究運営委員会（梅本）

2016年度からの新規の企画小委員会設置に向け、ニューズレターと学会ホームページを使って研究テーマの提案募集を行う。応募提案のなかから2～3件を採択する。

## 7. 国際交流委員会（牧・立木）

10月18日～21日にクライストチャーチとウエリントンにて開催される第4回 国際都市防災（ICUDR）に参加する。

11月27日、28日のACUDRについては、中林先生が日程調整中ではあるが、2日間ともご参加いただく予定となっている。

## 8. 広報委員会関係（秦）

資料27-3-9を基に、ニューズレターNo.93の内容と担当者について確認を行い、下記を修正することとなった。

- ・2015年度は、2回目の電子ジャーナルの募集は行わないため、「3. 地域安全学会論文集 No.26（電子ジャーナル）募集と投稿方法」を削除する。
- ・原稿作成が間に合えば2016年度春季大会についても掲載する。

## 9. 学協会連合（代理：立木）

資料27-3-6を基に、下記事項が審議された。

- ・防災学術連携体への参画について、特に離脱する理由はないため参画する。
- ・若手の担当者として加藤理事、もう1名の担当者として立木会長が参加する。
- ・平成27年度年会費として1万円支出する。
- ・幹事会への参加については、加藤理事参加時の理事会にて審議する。
- ・1月9日の学術フォーラムでは立木会長が発表を担当する。
- ・11月30日～12月2日に開催される世界工学会議にて、地域安全学会のポスター展示及び、学会の紹介パンフレットを配布する。ポスター及びパンフレットは、村尾理事が作成及び印刷を担当する。なお、事務局はこの時に作成したポスター及びパンフレットのデータを学会ホームページに掲載する。

## 10. 選挙管理委員会（代理：宮野）

前回の理事会にて、選挙管理委員長に能島理事、副委員長に清野理事が選出された。

選挙管理委員として、非改選対象の理事から池田理事、加藤理事、庄司理事が選出された。これをもって選挙管理委員会の設置を承認する。

## 11. その他

## (1) 細則（案）について（糸井川）

資料 27-3-10 を基に、細則（案）について審議し、下記の点を修正したものを細則（案）とする。

- ・年会費の納入期限は5月末までとする。
- ・第3章 第9条は、第3章 第11条に修正し、以降の条番号を修正する。
- ・第11条（委員会等規程）の「ただし、前条第1項に・・・」の一文を削除する。
- ・入会には理事会の承認が必要とする。
- ・推薦と本人の承諾により名誉会員となることとし、理事会の承認は不要とする。
- ・再入会時の未納分の支払いについて、正会員から正会員、学生会員から学生会員として再入会する場合は、未納分を支払うこととし、これ以外は、適宜理事会で審議のうえ決定する。
- ・地域安全学会が授与する賞の総称は「地域安全学会賞」とする。
- ・賞の表記順は、論文賞、論文奨励賞、技術賞、年間優秀論文賞、優秀発表賞とする。
- ・地域安全学会の英語の名称は「Institute of Social Safety Science」とする。

秋季研究発表会時に臨時総会を開催し、細則（案）を審議する。

なお、臨時総会は、秋季研究発表会の1週間前までにメール、学会ホームページ、ニューズレターで告知する。メール未着の場合は郵送で対応する。委任状はメールで提出とする。

## (2) 2016年度春季研究発表会について（越村）

2016年度の春季研究発表会は、高知県との共催で6月3日、4日に高知県県民文化センターにて開催することとなった。会場費として10万円支出することとなった。

次回：11月13日（金） 時間：秋季研究発表会終了後 会場：静岡県地震防災センター

代表理事

立木 茂雄



監 事

山崎 文雄

